

令和4年度（2022年度）

事業報告書

自 令和4年（2022年）4月1日
至 令和5年（2023年）3月31日

公益財団法人 関西交通経済研究センター

目 次

| | |
|--------------------------|----|
| I. 概況 | 1 |
| II. 事業報告 | 2 |
| 1. 交通経済に関する調査研究 | 2 |
| 2. 交通経済に関する講演会等の開催 | 10 |
| 3. 懸賞論文の募集事業 | 11 |
| 4. 文献その他出版物の刊行等 | 11 |
| 5. その他 | 11 |
| III. 庶務事項 | 13 |
| 1. 会 議 等 | 13 |
| A. 理 事 会 | 13 |
| B. 評 議 員 会 | 13 |
| C. 役員名簿等 | 14 |
| 2. 賛助会員 | 14 |
| 3. 事務局 | 14 |

I. 概況

当センターは、昭和47(1972)年10月25日に財団法人関西物流近代化センターとして設立され、昨年10月に創立50周年を迎えた。この間半世紀にわたり、関西経済圏における交通・運輸・観光等に関する総合的な調査研究、並びに基本的な計画の策定及びその計画の実施に必要な提言等を行い関西圏の社会、経済の発展に寄与することに努めてきたところである。

今年度の交通経済に関する調査研究事業については、関係業界団体等からの受託調査研究事業等を実施した。その内訳は継続事業12件、新規事業1件であり、収益は40,977,000円であった。(前年度比5,939,370円減)

新規受託事業の1件は、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団からの「大阪・関西万博に係る交通事業者の移動円滑化のためのソフト対策調査事業」で、2025年に迫った大阪・関西万博に向けて、障害者を含めた様々な人々が公共交通機関を利用することが想定されているために、交通事業者の方々へ役立ついただけるバリアフリーのソフト面(接遇・介助)の冊子の制作を行うものである。

今年度は学識者、障害当事者、事業者団体及び行政を構成員とする検討会を立ち上げ、基礎的な調査として障害当事者へのヒアリング及びアンケートを実施、次年度に冊子を制作する計画である。

交通経済に関する講演会等の開催については、災害対策シンポジウム、かんこうけんコロキウムを開催した。また創立50周年の記念事業として、これまでご支援をいただいた賛助会員をはじめ関係各位へ感謝の意をこめて記念セミナー及び記念祝賀会を開催した。

また、本セミナーでは当センターの調査研究機関として永年にわたり関西経済圏における交通経済の発展への尽力、国土交通行政の推進への多大な貢献の功績に対して、近畿運輸局長より当センターの会長に対して感謝状を賜った。

交通・運輸・観光等に関する懸賞論文事業には6編の応募があり、優秀賞1編、奨励賞1編を選定した。応募件数は前年度より減少したが、初めて応募の大学が3校と認知度も多少向上したと思われる。その後、かんこうけんコロキウムにおいて、受賞者の表彰式及び研究発表を実施した。

このほか、文献その他出版物の刊行として、これまでの50年の足跡を取りまとめた記念誌「関交研50年のあゆみ」、「関西交通経済ポケットブック2022年版」を刊行し、賛助会員、行政、関係団体等に配付した。

関西圏では、2025年大阪・関西万博の開催をはじめ、うめきた地区の全面開業、なにわ筋線の開業、リニア中央新幹線の大阪延伸等のビッグプロジェクトが計画され、地域の発展に寄与するのではと期待されている。

その中で当センターは、これまでの50年の歴史と実績を基に、SDGs、地球温暖化対策、安全・安心社会の構築、インバウンドによる観光再興など新しい時代のニーズを踏まえ、今後も関西圏の将来を展望し、交通運輸、観光及び経済社会の発展に貢献する調査研究事業の実施、情報発信等を行っていく方針である。

II. 事業報告

1. 交通経済に関する調査研究

受託調査研究事業等・・・13件

《概要》

(1) TSD運輸安全マネジメント支援センター事業の推進

【事業内容】

運輸の安全確保を最重要課題として発足した「運輸安全マネジメント制度」の施行から15年が経過し、大手・中堅事業者については取り組みが定着し一定の成果をあげている。他方で、未だ取り組みの途上にある中小規模事業者については相当数の事業者が努力義務に留まっていることや、貸切バス事業者に対する安全確保の社会的要請、近年の自然・社会環境の変化等により新たなリスクが顕在化してきている。

このような状況を踏まえ、国土交通省においては平成29(2017)年7月に「運輸事業における安全管理の進め方に関するガイドライン」の改訂を行った。TSD(運輸安全マネジメント支援センター。以下[TSD])においても「運輸安全マネジメント普及・啓発協議会」と協調し、改正ガイドラインに沿った教材を積極的に活用し、主として中小規模事業者の安全意識の醸成に努めた。

また、近年の自然災害の頻発化・激甚化が輸送安全の脅威となっていることから、国土交通省として令和2年7月に「運輸防災マネジメント指針」が策定され、令和3(2021)年10月に新たな認定セミナーとして「防災マネジメントセミナー」を設けた。

これを受けて、TSDにおいても認定取得申請を行い、令和4(2022)年2月に国土交通省から認定を受けたところである。これによりTSDの取得している認定セミナーとして「ガイドライン」「内部監査」「リスク管理」「防災マネジメント」の4セミナー全てを取得するに至っている。

さらに、事業用自動車の輸送の安全確保を目的に社会的規制の強化が図られており、TSDでは中小規模事業者を主とした対象として出前講座の強化や運行管理体制の更なる向上に資するため、運行管理者試験対策を積極的に進めた。

なお、昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から講習会やセミナー等の開催については、参加者数の抑制を含む3密回避など感染防止対策を徹底したうえで実施した。

【成果】

1. 事故防止等安全対策マニュアルの普及

出前講座・セミナー等で活用するとともに、近畿管内のバス・タクシー・トラックの各団体に対し普及に努めた。

2. 運輸安全マネジメント出前講座及び講習会(講師派遣)の開催

・開催回数 : 4回 《参加者 223名》

3. 運輸安全マネジメント認定セミナーの開催

・開催回数 : 12回 《延べ参加者 441名》

・ガイドライン(中小含む) : 7回 《参加者 268名》

・リスク管理(基礎) : 5回 《参加者 173名》

4. 運行管理者試験対策講習会の開催

・開催回数 : 24回 《延べ参加者 599名》

5. トラック初任運転者の特別指導講習会の開催

・開催回数 : 5回 《延べ参加者 165名》

(2) 第14回自動車事故防止セミナー

【事業内容】

本セミナーは、事業用自動車の事故防止対策の一環として平成19年度より毎年開催している。

事業用自動車については、乗客の生命、顧客の財産を預かる運送のプロとして高度な安全性が求められる。しかしながら、運行中における運転者の病状急変等による事故や飲酒を伴う事故等重大事故が引き続き発生している。このような状況を踏まえ、国土交通省が策定した「事業用自動車総合安全プラン2025」の新たな目標や計画を達成するため、自動車運送事業者には更なる輸送の安全への取り組みが求められている。

今回の自動車事故防止セミナーでは、国土交通省の取り組みや様々な観点から考えられる事故防止策を披露し、事故防止について意識の向上を図るために開催した。

【成果】

- ・開催日時：令和5(2023)年1月25日(水) 13:00～16:00
- ・開催場所：ドーンセンター 7F ホール
- ・内 容
 - 講演1
テーマ：「自動車運送事業者における視野障害対策マニュアルについて」
講師：宮坂 優斗 氏 (国土交通省自動車局 安全政策課 専門官)
 - 講演2
テーマ：「安全運行に関し、もっと知ってほしいこと」～「総合安全プラン2025」の策定に参加して～
講師：酒井 一博 氏 (公益財団法人大原記念労働科学研究所 主管研究員・医学博士)
 - 講演3
テーマ：「良心が響き合う社会を目指して」
講師：宮田 博文 氏 (株式会社宮田運輸 代表取締役社長)
- ・参加者 128名

(3) 運輸安全マネジメントシンポジウム

【事業内容】

平成18年から開始された「運輸安全マネジメント」の一層の普及・浸透・定着を図るため、基本的考え方や最近の情勢情報等を提供するとともに、事業者の安全に対する好事例発表等を通じて、より多くの道路運送事業者が安全度の向上に資する事を目的として開催している。

運輸安全マネジメント制度を導入し様々な取組を実施しているにも関わらず、現場に潜むリスクに気づいていない事例も散見されることから、本年度は「現場に潜むリスクへの対応」をサブテーマに、行政による基調講演、バス事業者からの事例発表及び改善へ向けたアドバイス等を通じて、安全管理に関わる参加者に対し、運輸安全マネジメント制度について、高い関心を持っていただくことを目的に開催した。

【成果】

- ・開催日時：令和4(2022)年8月4日(木) 13:00～16:30
- ・開催場所：中央電気倶楽部5F 大ホール
- ・内 容
 - 第I部
基調講演①

テーマ：「現場管理者(中間管理職)のリスク感受性(気づき力)の向上について」

講師：笠井 哲郎 氏（国土交通省大臣官房 運輸安全監理官室 次席運輸安全調査官）

基調講演②

テーマ：「気づいたリスク」の伝え方 ～主に中間管理職から現場へ～

講師：岡本 満喜子 氏（関西大学 社会安全学部 准教授 博士(人間科学)・弁護士）

○第Ⅱ部 事業者発表

（発表事業者）

奈良交通株式会社 常務取締役（安全統括管理者）深山 秀晃 氏
安全監理部安全対策グループ長 中垣 浩也 氏
南海バス株式会社 常務取締役（安全統括管理者）松内 祐二 氏
営業部 安全整備課長 西川 裕逸 氏

（コーディネーター）岡本 満喜子 氏

（アドバイザー）笠井 哲郎 氏

・参加者 120名

（4）交通事業者向けバリアフリー教育訓練(交通サポートマネージャー研修)の実施（関西地区）

【事業内容】

交通事業者（鉄道、バス等）を対象に、高齢者や障害者など移動制約者の安全で円滑な公共交通機関の利用を実現し理解を深めることを目的に、交通事業従事者に接遇・介助の知識と技術を伝えるための研修（教育訓練）を実施した。

（訓練のポイント）

- ・声のかけ方、接遇・介助の方法、配慮する点等について、座学と実技、ディスカッションを通じて総合的に学ぶことができる。
- ・少人数のグループごとに障害当事者や専門家が加わるディスカッションを行い、参加者からの質問にもその場で回答できる。
- ・バスや鉄道の車両、駅施設等を用いた実技と専門家、障害当事者講師からの具体例を交えた講義により、実態に近い研修内容である。

【成果】

4回開催し、85名が受講し修了した。

- ・第1回 開催日：令和4（2022）年6月16日（木）～17日（金）
場 所：大阪国際交流センター
参加者：23名（鉄道12名、バス9名、旅客船2：関西合同研修）
- ・第2回 開催日：令和4（2022）年6月30日（木）～7月1日（金）
場 所：京都市交通局会議室
参加者：30名（地下鉄30名：京都市交通局研修）
- ・第3回 開催日：令和4（2022）年11月29日（火）～30日（水）
場 所：神戸国際会館
参加者：16名（地下鉄16名：神戸市交通局研修）
- ・第4回 開催日：令和5（2023）年1月25日（水）～26日（木）
場 所：大阪国際交流センター
参加者：34名（鉄道15名、バス13名、旅客船6名：関西合同研修）

*コロナ禍の影響により、京都市交通局研修2回（地下鉄、バス）は実施出来なかった。

(5) 手話教室の開催

【事業内容】

交通事業従事者の手話技能の習得による接遇向上と聴覚に障害のある方への理解促進を図るための「手話教室」を24回開催し、聴覚障害者への理解と接遇の向上による移動円滑化の推進を図った。

【成果】

鉄道、バス7事業者から10名が受講し、8名が修了した。

(6) 2022年度 バリアフリー推進勉強会の開催（関西地区実施業務）

【事業内容】

交通バリアフリーを推進する上での課題等について、ハード・ソフト両面の個別テーマ毎に最新の動向を踏まえ、関係者等との意見交換や情報交換を目的に、関西地区のバリアフリー推進勉強会を開催した。

【成果】

○第15回バリアフリー推進勉強会 in 関西

・開催日時：令和4(2022)年11月7日(月) 13:30～15:45

・開催方法：オンライン（関交研YouTubeチャンネル(Live配信)）

・テーマ：聴覚障害者が語る日常生活と移動

～交通機関利用時におけるあるべき姿（支援・配慮）の現状のギャップについて～

・導入・課題提起

「多様な「聞こえ方」の整理、個々への対応の必要性について」

渡部 安世 氏（特定非営利活動法人 兵庫県難聴者福祉協会 バリアフリー部長）

・講演

①「聴覚障害者の日常生活」について（手話言語者の場合）」

志方 龍 氏（宝塚市身体障害者福祉団体連合会 会長）

②「難聴、中途失聴者の立場から」

渡部 安世 氏（特定非営利活動法人 兵庫県難聴者福祉協会 バリアフリー部長）

③「聴導犬とともに生きる」

安藤 美紀 氏（特定非営利活動法人 MAMIE（マミー） 理事長）

・ディスカッション

（コーディネーター）鈴木 千春 氏（障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議 運営委員）

（コーディネーター）六條 友聡 氏（社会福祉法人ぽぽんがぽん）

（コメンテーター）石塚 裕子 氏（大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター 講師）

（パネリスト）志方 龍 氏（宝塚市身体障害者福祉団体連合会 会長）

（パネリスト）渡部 安世 氏（特定非営利活動法人 兵庫県難聴者福祉協会 バリアフリー部長）

（パネリスト）安藤 美紀 氏（特定非営利活動法人 MAMIE（マミー） 理事長）

・視聴回数：208回

○第16回バリアフリー推進勉強会 in 関西

・配信期間：令和5(2023)年3月14日(火)～3月31日(金)

・開催方法：オンライン（関交研YouTubeチャンネル(録画配信)）

・テーマ：駅の無人化と障害者の困りごと～みんなが利用しやすい駅を目指して～

・趣旨説明：

「テーマを取り上げた背景について」

六條 友聡 氏(社会福祉法人ほぽんがぼん)

・調査報告

「無人駅のインターホン調査から見えた課題」

堀 篤子 氏 (アクセス関西ネットワーク)

・情報提供

「駅の無人化に伴う安全・円滑な駅利用に関するガイドラインの概要について」

松尾 剛志 氏(国土交通省近畿運輸局 鉄道部 監理課長)

・ディスカッション

(コーディネーター) 新田 保次 氏 (大阪大学 名誉教授)

(コメンテーター) 鈴木 千春 氏 (障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議 運営委員)

(コメンテーター) 六條 友聡 氏 (社会福祉法人ほぽんがぼん)

(パネリスト) 三原 ひろみ 氏 (アクセス関西ネットワーク)

(パネリスト) 松倉 由夏 氏 (アクセス関西ネットワーク)

(パネリスト) 吉川 ひとみ 氏 (アクセス関西ネットワーク)

(パネリスト) 堀 篤子 氏 (アクセス関西ネットワーク)

・視聴回数：311回

(7) 令和4年度 兵庫県トラック協会環境対策及び広報誌作成等

【事業内容】

(一社)兵庫県トラック協会は、兵庫県一円の貨物自動車運送事業並びに貨物利用運送事業の社会的、経済的地位の向上と会員相互の連絡協調を緊密にすることを目的に活動しているところであり、また、事業の役割と重要性について一般市民の理解促進を図ることについても重要な使命としている。

今年度は「エコドライブチェック調査の実施」、「広報誌「トラック業界の価値を高める羅針盤」の作成」、「環境と物流を考えるフォーラムの開催」、「トラックドライバーのための減災BOOK(電子版)」の更新」、「兵庫県トラック協会 YouTube 講座の配信」の5事業を実施した。

【成果】

1. エコドライブチェック調査の実施

・実施期間：令和4(2022)年11月1日から30日(※エコドライブ推進月間)

・回答数：事業者152社、ドライバー2144名

カーボンニュートラル実現に向けドライバーにエコドライブの啓発を目的に実施。実施期間中に運転者が自らの運転を振り返り、12項目あるエコドライブチェックシートに記入。80%できたというドライバーの割合は全てのチェック項目で70%以上あった。

2. 広報誌「トラック業界の価値を高める羅針盤」の作成

・作成部数：2,500部(A4版、17ページ)

・内容：物流2024年問題に如何に向き合うか、2050年カーボンニュートラルに向けて等

・配付先：兵庫県トラック協会の会員事業者

3. 「環境と物流を考えるフォーラム」の開催

2050年の「カーボンニュートラル」の実現に向けての取組は我が国の重要な政策課題となっている。その中でも運輸部門のCO2排出量は我が国全体の約16%を占め、うちトラックは我が国全体の約7%を占めていることから、トラック運送業界全体で取り組むべき課題と課題となっている。

そこで、「カーボンニュートラル」をテーマに、全日本トラック協会の施策、再生エネルギーの現状や課題、今後の展望等のほか、カーボンニュートラルにも繋がる中小トラック事業者が取り組むべきSDGsについて最新の情報を提供することにより、兵庫県トラック協会会員等の理解を深め持続的な取組を目指すことを目的にフォーラムを開催した。

・開催日時：令和4(2022)年11月25日(金) 14:00～16:40

*後日、兵庫県トラック協会 YouTube チャンネルで録画配信

・開催場所：兵庫県トラック総合会館

・講演1：「トラック運送業界の環境ビジョン2030」

(講師) 大西 政弘 氏 (公益社団法人全日本トラック協会 交通・環境部長)

・講演2：「今、中小トラック事業者が取り組むべきSDGsとは！」

(講師) 岡部 清一 氏 (一般社団法人 兵庫県中小企業診断士協会 中小企業診断士)

・講演3：「運輸交通分野のカーボンニュートラル化を巡って～主要国のエネルギー事情や産業政策から商用車のこれからを考える～」

(講師) 新添 麻衣 氏 (SOMPO インスティテュートプラス株式会社 シティ・モビリティグループ 主任研究員)

・参加者：70名

4. 「トラックドライバーのための減災BOOK(電子版)」の更新

緊急地震速報の発表基準の改訂情報(気象庁)、ドライブルートのリスク予報(ウェザーニュース)を新たに追加した。

5. 兵庫県トラック協会 YouTube 講座の配信

近年多発する風水害等に備えるため、経営者向けには安全な運行計画を立てるために気象情報の読み方や入手の方法について、ドライバー向けには事前の予防策や走行中に災害に遭遇した際の対処法などの役立つ情報を配信した。

・経営者向け：「運送物流における気象情報の活用～気候変動を考慮した戦略的運行計画～」

・ドライバー向け：「運送物流における気象情報の活用」

・講師：石河 大 氏 (株式会社ウェザーニュース陸上気象事業部 ホーレショングループリーダー)

(8) 「プロドライバーのためのHAKI!HAKI!体操」効果検証事業

【事業内容】

前年度に実施した体操の周知活動および効果検証アンケートの集約、分析結果を受けて、「プロドライバーのためのHAKI!HAKI!体操効果検証委員会」において報告書を取りまとめた。

本体操は疲労回復、安全・安心(事故防止)、健康維持・増進に効果がみられることが示唆され、一定程度の評価が得られたものと考えられるとの結論を取りまとめた。

【成果】

・「プロドライバーのためのHAKI!HAKI!体操」効果検証事業 報告書

・配付先：検証委員会委員、国土交通省、近畿運輸局、事業者団体等

(9) 地域公共交通活性化シンポジウム

【事業内容】

地域公共交通は地域の社会経済活動に必要なインフラであるものの、人口減少などの進展による利用者数の減少により、交通事業者は厳しい経営環境であったうえに、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛に加え、テレワークや Web 会議の普及による移動機会の減少などにより一層厳しい経営環境にある。そこで、「地域公共交通の新たな可能性」に向けたカギを見つける（考える）ことを目的としたシンポジウムを開催した。

【成果】

- ・開催日時：令和4(2022)年11月28日(月)13:30～16:30
- ・開催方法：オンライン（近畿運輸局 YouTube チャンネル(LIVE 配信)）
- ＊後日、近畿運輸局 YouTube チャンネルで配信
- （基調講演）
「地域モビリティのポテンシャル～モビリティを軸とした「共創」イノベーション～」
（講師）神田 佑亮 氏（呉工業高等専門学校環境都市工学分野 教授）
- （事例紹介1）
「バス事業者が目指す「まちづくり・地域づくり」について～貨客混載事例を中心に～」
野田 年洋 氏（神姫バス株式会社地域事業本部 部長）
- （事例紹介2）
「徳島県南部地域におけるバスと鉄道の共同経営について」
木村 圭佑 氏（四国運輸局交通政策部交通企画課 課長）
- （説明）
「乗合バス運賃施策事例集」
児玉 健 氏（神戸市交通局 副局長）
大石 信太郎 氏（近畿運輸局自動車交通部旅客第一課 業務係長）
- ・視聴回数：536回（令和5(2023)年4月18日時点）

(10) 2022年度 交通環境教室

【事業内容】

少子高齢化、人口減少、そして、モータリゼーションの進展等により、乗合バスを取り巻く環境は極めて厳しい中、将来通学や通勤などで地域公共交通機関を活用する機会が多くなる小学生を対象に、地域の交通、環境問題に関心を持つきっかけを与えることを目的に体験型の交通環境教室（バス事業者、学識者の講話、バス営業所の見学等）を実施した。

【成果】

- ・開催日：令和4(2022)年9月16日(金)
- ・開催場所：奈良市立左京小学校／奈良交通株式会社平城営業所
- ・参加児童：55名（小学2年生）
- ・講師：神田佑亮氏（呉工業高等専門学校 教授）、奈良交通株式会社
- ・アンケート結果：
バスの乗り方や死角の危険性について参加児童の理解が向上した。また「バスに乗りたい」、「バスが地球環境によい乗り物ということが分かった」とほとんどの児童が回答したことから、バスの利用促進や安全への理解向上という目的は達成できた。

(1 1) 令和3年度 交通環境セミナー

【事業内容】

優良な環境対策・環境施策を展開する物流事業者、荷主企業等の取組等を発表により、物流事業者や荷主企業に対し、「国土交通グリーンチャレンジ」に位置づけられた各施策をより一層推進するための動機付けを促すことを目的に開催した。

【成 果】

- ・開催場所：大阪科学技術センター 8階大ホール
- ・開催日時：令和5(2023)年2月16日(木) 13:30～16:30

(基調講演)

「物流におけるカーボンニュートラルへの取り組みの現状と課題」

(講師) 矢野 裕児 氏 (流通経済大学 流通情報学部 教授 (流通情報学部長))

(取組発表1)

「当社の取り組みと低公害トラックの現状」

池田 雅信 氏 (株式会社エコトラック 代表取締役社長)

(取組発表2)

「月桂冠における物流効率化、環境負荷低減への取組紹介」

福井 徹也 氏 (月桂冠株式会社 物流部 物流課 課長)

(取組発表3)

「「トラック運送業界の環境ビジョン2030」策定」

滝口 敬介 氏 (一般社団法人 大阪府トラック協会 専務理事)

(取組発表4)

「自動車運送事業者様へのCO2削減コンサル支援事業の概要説明」

小林 雅行 氏 (一般財団法人 環境優良車普及機構 企画調査部 担当部長)

- ・参加者数/視聴回数：90名/113回 (近畿運輸局 YouTube チャンネル(LIVE 配信))

*後日、近畿運輸局 YouTube チャンネルで配信

(1 2) 自動車整備分野における監理団体及び登録支援機関の評価制度に係る勉強会

【事業内容】

自動車整備業分野は、外国人技能実習制度および特定技能制度により、それぞれ外国人材の受入が行われている。受入に当たっては、外国人の生活・言語・仕事の支援等を行う監理団体や登録支援機関の果たす役割が大きく、その選択が受入の成否を握るといっても過言ではない。そこで、自動車整備分野における監理団体及び登録支援機関について、同分野の視点からその適切性を評価する制度のニーズについて調査するとともに、当該ニーズを踏まえた制度のあり方について、関係者による勉強会を設置し、研究及び検討を行った。

【成 果】

近畿2府4県の自動車整備振興会の協力を得て、整備事業者を対象としたアンケート調査を実施した。アンケート調査の結果、整備事業者が監理団体等の選択するにあたって評価制度の必要性が明らかとなった。(アンケートの対象事業者の区分：①外国人を雇用している事業者、②外国人をかつて雇用していた事業者、③外国人の雇用を検討している事業者)

- ・アンケート数 : 56事業者 (近畿2府4県自動車整備事業者)
- ・アンケート回答数 : 34事業者

(13) 2022年度 大阪・関西万博に係る交通事業者の移動円滑化のためのソフト対策調査

【事業内容】

2025年4月から10月までの約半年間にかけて、「いのち輝く未来のデザイン」をテーマに、大阪市（夢洲）で開催される「大阪・関西万博」には、国内外から約2,800万人の来場者が想定されている。そこで、来場者の多くが利用する公共交通機関の旅客施設に係るバリアフリーのソフト対策について、学識者、障害当事者、事業者団体及び行政を構成員とする「大阪・関西万博に係る交通事業者のバリアフリーソフト対策検討会」を立ち上げ、障害当事者等の多様なニーズや特性を踏まえて、公共交通事業者の役務等による移動の円滑化を図るための必要な対策を検討した。

【成果】

検討会の当事者委員、交通事業者団体の協力を得て、ヒアリング及びアンケート調査を実施した。

事業者への調査の結果からは、バリアフリーのソフト面での現在の各社の取組状況、今後の課題が明らかとなった。

障害当事者への調査結果では、鉄道、バス、タクシー、旅客船などの公共交通機関利用時に障害当事者が体験した困りごと、支援内容、そして、要望に関する多数の事例を収集することができた。

- ・交通事業者アンケート：21事業者が回答
- ・障害当事者等アンケート：173名が回答

2. 交通経済に関する講演会等の開催

(1) 創立50周年記念事業

令和4（2022）年10月25日に創立50年の節目を迎え、これまでご支援をいただいた賛助会員をはじめ関係各位へ感謝の意をこめて記念セミナー及び記念祝賀会を開催した。

また、当センターの調査研究機関として永年にわたり関西経済圏における交通経済の発展への尽力、国土交通行政の推進への多大な貢献の功績に対して、記念セミナーにおいて国土交通省近畿運輸局長より当センター会長に感謝状を賜った。

①創立50周年記念セミナー

- ・開催日時：令和4（2022）年11月18日（金） 15:00～17:20
- ・開催場所：大阪キャッスルホテル 6階 鳳凰の間

<講演1>

講師：金井 昭彦 氏（国土交通省 近畿運輸局長）

テーマ：2025年大阪・関西万博に向けた近畿運輸局の観光・交通・物流政策について

<講演2>

講師：安部 誠治 氏（関西大学 社会安全学部 教授）

テーマ：人が創る運輸の安全

- ・参加者：140名

②創立50周年記念祝賀会

- ・開催日時：令和4（2022）年11月18日（金） 17:30～19:00
- ・開催場所：大阪キャッスルホテル 3階 錦城閣
- ・参加者：56名

(2) 第11回災害対策シンポジウム

- ・開催方法：オンライン（関交研 YouTube チャンネル（録画配信））

- ・配信期間：令和5(2023)年3月6日(月)～3月24日(金)
- ・講演：「近年の気象状況と命を守る防災気象情報の取組」
 (講師) 笠井 将伸 氏 (大阪管区気象台 気象防災部気象防災情報調整官)
 「大切だとわかっているのに災害の備えをしない心のしくみ」
 (講師) 藤見 俊夫 氏 (京都大学防災研究所 社会防災研究部門 准教授)
- ・視聴回数：225回

(3) 第44回かんこうけんコロキウム

- ・開催日時：令和5(2023)年3月28日(火) 14:00～16:00
- ・開催会場：中央電気倶楽部 5階 513号室
- ・内 容：懸賞論文受賞者(優秀賞・奨励賞)の表彰式及び研究発表
- ・参加者数：23名

3. 懸賞論文事業

関西圏における運輸交通・観光の一層の発展と地域社会の活性化に寄与するため、平成20年度(2008年度)から実施している。

今年度は6編の応募があり、審査委員会での厳正なる審査の結果、優秀賞1編、奨励賞1編を選定した。

- 優秀賞：「鉄道事業者以外が管理する鉄道駅の運営に関する提言-西日本の簡易委託駅を事例として-」
 田浦 亘 氏、池上 将史 氏、小味 洸 悠希 氏、寺西 亮太 氏(龍谷大学 政策学部)
- 奨励賞：「路線バスにおける系統番号への提案-京都のバスはなぜ“わかりにくい”のか?-」
 渡邊 一平 氏(京都産業大学 文化学部)

4. 文献その他出版物の刊行等

(1) 記念誌「関交研50年のあゆみ」の刊行

当センターの50年の歴史と取り組み(調査研究事業、報告書、講演会等)を掲載した記念誌を刊行。

450部制作し、賛助会員・行政・関係機関等へ配付した。

(2) 「関西交通経済ポケットブック022年版」の刊行

昭和48(1973)年度から関西経済圏における交通経済に関する統計資料を毎年発行(国土交通省地方支分部局監修)

・発行部数：730部

・主な配付先：関係官公庁(国土交通省地方支分部局、神戸市港湾局等)、賛助会員、関係事業者団体等

(3) メールマガジン「関交研ニュースレター」の発信

当センター主催の講演会等の開催案内、講演録などの情報を賛助会員等に配信した。

5. その他

令和4(2022)年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当することがないので、事業報告の附属明細書は作成しない。

(参考)

令和4年度（2022年度） 調査研究事業一覧表

(P. 2～10関連)

| 番号 | 事業名 | 受託先 |
|----|---|-------------------------|
| 1 | TSD運輸安全マネジメント支援センター事業の推進 | (一財)近畿陸運協会 |
| 2 | 第14回自動車事故防止セミナー | (一財)近畿陸運協会 |
| 3 | 運輸安全マネジメントシンポジウム | (一財)近畿陸運協会 |
| 4 | 交通サポートマネージャー研修の実施(2022年度、関西地区) | (公財)交通エコロジー ・モビリティ財団 |
| 5 | 手話教室の開催 | (公財)交通エコロジー ・モビリティ財団 |
| 6 | 2022年度 バリアフリー推進勉強会の開催(関西地区実施業務) | (公財)交通エコロジー ・モビリティ財団 |
| 7 | 令和4年度 兵庫県トラック協会環境対策及び広報誌作成等 | (一社)兵庫県トラック協会 |
| 8 | 「プロドライバーのためのHAKI!HAKI!体操」効果検証事業 | (株)キリック |
| 9 | 地域公共交通活性化シンポジウム | (一財)近畿陸運協会 近畿バス団体協議会 |
| 10 | 2022年度 交通環境教室 | (一財)近畿陸運協会 |
| 11 | 2022年度 交通環境セミナー | (一財)近畿陸運協会 |
| 12 | 自動車整備分野における監理団体及び登録支援機関の評価制度に係る勉強会 | (株)キリック |
| 13 | 2022年度 大阪・関西万博に係る交通事業者の移動円滑化のためのソフト対策調査 | (公財)交通エコロジー ・モビリティ財団 |

Ⅲ. 庶務事項

1. 会議等

A. 理事会

(1) 第30回 理事会

- 開催日 令和4年5月20日(金)
開催場所 ホテルグランヴィア大阪
議案 ① 令和4年度事業報告書(案)について
② 令和4年度決算報告書(案)について
③ 第23回定時評議員会の招集(案)について

(2) 第31回 理事会

- 開催日 令和4年6月13日(月)
開催場所 ホテルグランヴィア大阪
議案 ① 会長・理事長及び常務理事の選定について

(3) 第32回 理事会

- 開催日 令和5年2月21日(火)
開催場所 大阪ガス株都市魅力研究室会議室
議案 ① 令和5年度事業計画(案)について
② 令和5年度収支予算(案)について
③ 第24回評議員会の招集について

B. 評議員会

(1) 第23回 評議員会

- 開催日 令和4年6月13日(月)
開催場所 ホテルグランヴィア大阪
議案 ① 令和3年度決算報告書(案)について
② 任期満了に伴う理事の選任について
③ 評議員の退任(死去)に伴う選任について

(2) 第24回 評議員会

- 開催日 令和5年3月15日(水)
開催場所 大阪ガス株都市魅力研究室会議室
議案 ① 令和5年度事業計画(案)について
② 令和5年度収支予算(案)について
③ 理事の辞任に伴う選任について

C. 役員名簿等

(令和5年3月31日 現在)

(1) 役員

| | | |
|-------|-----------|------------------------------|
| 会 長 | 尾 崎 裕 | 大阪ガス(株) 相談役 |
| 理 事 長 | 東 井 芳 隆 | (一財)関西観光本部 代表理事 専務理事 |
| 常務理事 | 福 元 稔 | (公財)関西交通経済研究センター 事務局長 |
| 理 事 | 荒 木 律 也 | (一社)京都府トラック協会 会長 |
| 〃 | 井 波 洋 | (一社)大阪バス協会 会長 |
| 〃 | 小 黒 一 興 | 日本通運(株) 執行役員関西ブロック地域総括兼大阪支店長 |
| 〃 | 小 谷 通 泰 | 神戸大学 名誉教授 |
| 〃 | 加 藤 琢 二 | 加藤汽船(株) 代表取締役会長 |
| 〃 | 和 田 林 道 宜 | 近畿日本鉄道(株) 代表取締役会長 |
| 監 事 | 岡 田 信 | 阪神バス(株) 代表取締役会長 |
| 〃 | 西 願 廣 行 | 近畿冷蔵倉庫協議会 会長 |
| 顧 問 | 野 村 明 雄 | 大阪ガス(株) 特別顧問 |

(2) 評 議 員

| | | |
|-------|---------|--------------------------|
| 評 議 員 | 阿 部 哲 夫 | (株)名門大洋フェリー 代表取締役会長 |
| 〃 | 上 村 正 美 | 阪急電鉄(株) 専務取締役都市交通事業本部長 |
| 〃 | 倉 坂 昇 治 | 西日本旅客鉄道(株) 代表取締役副社長兼執行役員 |
| 〃 | 小 林 敏 二 | 南海フェリー(株) 代表取締役社長 |
| 〃 | 清 水 雅 範 | (一財)神戸観光局 専務理事 |
| 〃 | 中 川 才 助 | (一社)大阪府トラック協会 会長 |
| 〃 | 長 尾 真 | (公社)兵庫県バス協会 会長 |
| 〃 | 橋 本 一 孝 | (株)辰巳商会 常勤監査役 |
| 〃 | 深 津 安 郎 | (一財)近畿陸運協会 理事長 |

2. 賛助会員

| | | |
|----------|-------|-------|
| 法人会員数・口数 | 76 法人 | 842 口 |
| 個人会員数・口数 | 10 名 | 14 口 |

3. 事務局

(1) 事 務 所

大阪市西区西本町1丁目7番2号 (ウエスト・スクエアビル 9F)

電 話 (06)6543-6291 FAX (06)6543-6295

ホームページ <http://www.kankouken.org>

(2) 役 職 員 (令和5年3月31日現在)

| | | |
|-------|----|-------------------------|
| 役 員 | 3名 | (会長(非常勤)、理事長(非常勤)、常務理事) |
| 事務局長 | 1名 | (常務理事、事務局長兼務) |
| 総 務 部 | 1名 | (係長) |
| 業 務 部 | 2名 | (課長、研究員) |